

筑波大学プレゼンツ  
学問本オーサービジット

参加自由

筑波大 HP より

- 日時 2015年12月21日(月)13:40~14:30
- 対称クラス 大野高校2年B組
- 著者 五十嵐沙千子 先生
- 使用図書 「他者性の時代--モダニズムの彼方へ」(世界思想社)



講師 プロフィール

- 哲学者 筑波大学人文社会系准教授 博士
- 専門 ハイデガー、ハーバーマスの合意論を中心とする政治哲学
- 主な研究テーマ
  - 哲学カフェに関する基礎理論および「哲学カフェ」形式の授業構築に関する研究
  - 対話とコミュニケーションによる民主主義社会の構成論
  - ポストモダンにおける公共性の問題
  - 高等教育における、哲学対話による授業構成論
  - コミュニケーション論とコーチング理論の複合による高校・大学での倫理学授業の再構築

■ 好きなもの・こと

三月の、風が冷たくて山が黄色桃色に明るくなる春の兆し／四月の終わりにすみずみまで光が届いて春の真ん中にあること／五月の庭の朝ご飯／六月の初夏の早い夜の公園の匂い／八月の夏休みの朝／九月の午後にキンモクセイが咲いて秋が来ること／11月の灰色のセーターを着て茶色のスープ皿とストーブを出すこと、風が吹くこと。それから、不空羂索観音(広隆寺)。チョコレート。授業も好き。運転も好き。きれいな空間を作るのが好き。何もなくてキラキラした感じが好き。cloudy bay。漆喰の壁。石鯨。ジーンズ。赤。雨上がりの木の匂い。ハイデガー。シューマン。道が続いていくこと。

河上正秀編『他者性の時代～モダニズムの彼方へ』世界思想社、2005年、2,052円(10冊)



筑波大学教員の五十嵐沙千子が担当した「『生命倫理』入門」の章をオーサービジットの対象とします。生きるって何だろう？ 死ぬって何だろう？ 幸せな人生って何だろう？ …これは、みんなが悩む人生の問題や生命倫理の問題を、ふつうの言葉で、読む人と一緒に考えていく、そういう本です。でも、哲学の本って本当はそういうもの。ふん、ふん、なるほど…と、読んで著者と一緒に対話していくうちに、生命倫理の問題も、それから現代思想の中心問題も、いつのまにかあなたの頭に入っているはず。でも、それだけじゃない。これを読んだあなたはきっと、現代を生きている、まだ会ったことのない人たちの問題や思いを、他人事ではなく一緒に考えていけるはず。ただわかりやすいだけじゃなくて、これは、ここからあなたが出発していける本なのです。

筑波大 HP より